

令和元年度第5回 安城市総合計画審議会 議事要旨

日 時	令和2年1月17日（金） 午前10時～10時50分	
場 所	安城市役所本庁舎3階 第10会議室	
出席者	委 員	加藤研一会長、榊原喜栄子副会長 飯尾歩委員、杉浦昭子委員、安田孝美委員、久恒美香委員、 大谷利夫委員、加藤宣子委員、神谷明文委員、塚田哲雄委員、 戸田こず恵委員、野上三香子委員、深谷誠委員、三浦健委員、 伊藤朝野委員、菊智ゆき委員、宮澤和枝委員
	事務局	市長、副市長、教育長、企画部長、行革・政策監、 関係部長級幹部・課長、企画情報課長、企画情報課職員
次 第	1 市民憲章唱和 2 市長あいさつ 3 議題 (1) パブリックコメントの実施結果及び第8次安城市総合計画（後期計画）（案）について (2) 第2期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について 4 答申 5 その他	

1 市民憲章の唱和

2 市長あいさつ

皆様、おはようございます。

本日は、ご多用の中、総合計画審議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

近年は ICT による情報化進展のせいか、時代の変化がより早く・大きくなってきたように感じられます。特に、国際情勢については、年末から年始にかけてアメリカとイランの衝突があり目が離せないような事態が続いています。前年までの米中貿易戦争の行方、イギリスの EU 離脱問題、朝鮮半島情勢等に加えて、今後は経済情勢の不安定化といった課題も考えられ、私たちは歴史の転換期に立たされています。こうした波乱含みの国際情勢ではありますけれども、地方自治体にはできることは限られています。広い視野で時代の変化とその対策を判断して、私たちは常に市民生活の安定を最優先とした行政サービスの提供に努めなければなりません。こうした未曾有の出来事が心配される時代ではありますが、地方自治体レベルの話として、本市が現在、直面しつつある新しい課題が3つほど挙げられます。

1つは超高齢社会の到来です。本市の高齢化率も間もなく 21%に達するものと見込まれます。WHO 等の国際機関では、高齢化率が 21%に達した社会を超高齢社会と定義づけておりますので、いよいよ本市も超高齢社会に直面することになります。これまでも様々な対策を講じてきましたが、頻繁に発生している自然災害に対する高齢者・障がい者の避難誘導のあり方、都市施設のバリアフリー、公共交通のあり方等の全てにおいて超高齢社会に対応できているかどうか、今一度点検する必要があります。

2つ目は、オリンピックムードを活かしたケンサチの推進です。いよいよ本年はオリンピック・パラリンピックの開催年であり、スポーツを通じた健幸都市実現のきっかけにしたいと思っています。今後は、夏に向けて全国的にスポーツイベントも多く開催され、マスコミもそれらを積極的に取り上げると考えられます。本市では4月7日に聖火リレーが、市体育館からアンフォーレまでの間を駆け抜けることとなっています。有名人による聖火ランナーも決まっており、本市出身のプロレスラー、オカダ・カズチカさんも選ばれており、彼が本市を走ってくれば、全国的にかなり注目されることになると思われます。この他、オリンピック出場が決定している女子ソフトボールのカナダチームが、5月と7月に本市で合宿を行うこととなっております。こうしたオリンピックに向けた様々なニュースによって、市民のスポーツに対する関心は高まるものと思います。こうした機運の盛り上がりを活かし、ケンサチ生活の確立を目指したいと願っております。

3つ目は活発な民間投資への対応です。近年は自動車産業が新たな技術革新を迫られている関係で、特に製造業を中心に新技術への新たな投資が行われるようになってきました。そうした動きを背景に、市内では複数の大型高層マンションの建設が進められています。本市に関して言えば、まだまだ人口増加が予測され、産業活力も更に高まると期待されます。民間投資は喜ばしい反面、周辺環境が激変する可能性があり、地域との軋轢が心配されます。こうした新たな課題について、開発側や地元町内会との調整を進め、地域に喜んでいただける開発にする必要があります。

このような新たな課題があることを承知した上で、本日の審議会では、昨年中に実施した第8次総合計画（後期計画）のパブリックコメントに対する市の考え方についてご審議いただき、最終案として答申をいただきたいと思っております。

その後は、審議の場を市議会に移し、3月の定例会でご審議いただくこととなります。私どもから市議会へ誠意を尽くして本審議会の答申をお伝えするとともに、新たな後期計画を「ケンサチ2.0」と銘打ち、来年度からスタートを切ってまいりたいと考えております。

総合計画、総合戦略、いずれの計画におきましても今日に至るまで、委員の皆様の熱心な審議と貴重なご意見ご提案を賜り、感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

以上、私からのあいさつとさせていただきます。

よろしく申し上げます。

### 3 議題

(1) パブリックコメントの実施結果及び第8次安城市総合計画（後期計画）（案）について

（事務局説明）

【加藤研一会長】

ただいま、事務局から議題（1）パブリックコメントの実施結果及び第8次安城市総合計画（後期計画）（案）について、説明がありましたが、ご意見やご質問がございましたら、ご発言をお願いいたします。

【各委員】

（特になし）

【加藤研一会長】

パブリックコメントの内容について、詳細に回答いただいております。

この総合計画案については、特に修正はないということで、今後、施策を実施していただきたいと思っております。それでは、この案を最終案としてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【加藤研一会長】

異議なしの発言をいただきましたので、この案を最終案といたします。以上で、議題（1）パブリックコメントの実施結果及び第8次安城市総合計画（後期計画）（案）について、を終了します。

(2) 第2期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

（事務局説明）

【加藤研一会長】

ただいま、事務局から議題（2）第2期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について、説明がありましたが、今回の修正は、最新データの追加、国の閣議決定に基づく修正であり、報告に近い内容かと思っておりますが、ご意見やご質問がございましたらご発言をお願いいたします。

【各委員】

（特になし）

【加藤研一会長】

特にご意見は無いようですので、戦略的・効果的に事業を実施し、KPIを達成できるようにしていただきたいと思っております。それでは、この案を最終案としてよろしいでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【加藤研一会長】**

異議なしの発言をいただきましたので、この案を最終案といたします。以上で、議題（２）第２期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について、を終了します。

本日の議題は以上でございます。総合計画と総合戦略の策定において、委員の皆様には、慎重かつ活発にご審議いただき、無事に取りまとめることができました。この後、市長に答申をさせていただきます。委員の皆様全員からまとめの意見を伺いたいところですが、時間の都合もありますので、代表して安田先生から、全体を通したご講評をいただきたいと思っております。

**【安田孝美委員】**

パブリックコメントのことで教えていただきたいのですが、先ほど5名46件の意見ということでしたが、年齢はどれくらいの方なのか分かれば教えていただきたいです。

**【事務局】**

年齢の記載はありませんが、内容から判断すると70歳代程度で、若い方で60歳代程度の年齢の方だと思います。

**【安田孝美委員】**

ありがとうございます。やはりご高齢の方々のご意見ですね。どこの自治体でも言えることですが、若い人にパブリックコメントをしていただけるように安城市としても対応をすべきかと思っております。意見を拝見させていただきましたが、要望が多く、どうしてもこういう形になってしまいます。理想かもしれませんが、目指すべきは安城市の市民と行政が力を合わせて一体的にやっていくことだと思います。

計画、戦略についてはバランスよくまとめられていると思います。紙面デザインや見た目の分かりやすさも良く、委員の皆様の見解やご担当者の努力の結果だと思います。これからが本番で、今後はこの計画を元に計画に沿って進めることはもちろんですが、ICTは進展が早く変化も早いので、良いことは修正を恐れずに計画を見直していただきたいです。

最後に、紙面は分かりやすくまとめられていますが、デジタルデータへのアクセス等に関しても今後ご検討いただくと良いと思います。様々な施策が進められていくと思いますが、市民やステークホルダーに対して計画の状況をこまめに発信していくことが重要です。パブリックコメントでも意見がありましたが、市の情報がほしいという意見からも表れていると思います。ホームページやメディアを使って、バリアフリー化、歩道の整備がどの程度進んでいるのかを写真や動画の形で市民に提供していく必要があると思います。そうすることで市民に自分ごととして感じていただき、市役所へのファンを増やすことにつながります。それが市民と一体となって進めていくことにつながるので今後検討していただきたいです。

**【加藤研一会長】**

ありがとうございました。今後も温かいお言葉と、深い見識によるご指導をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。市においては、目指す都市像の実現に向け、成果指標の目標を達成できるよう、引き続き努力していただきたいと思います。

最後に、委員の皆様のご熱心な審議と議事運営に対するご協力に心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

では、事務局にお返しします。

4 答申

**【加藤研一会長から市長へ答申書の交付】**

5 その他

**【事務局】**

(今後のスケジュールについて説明)

**【事務局】**

最後になりますが、三星副市長から、お礼を申し上げます。

**【副市長】**

総合計画審議会委員の皆様におかれましては、8月の諮問から本日の答申まで、計4回に渡りご審議をいただきました。ありがとうございました。第8次総合計画の策定をしていた平成27年当時にはトランプ大統領もおらず、自国第一主義等、考えられない状況だったと思います。SDGsやAIをキーワードに盛り込むような情勢の変化があった中、第8次総合計画をリニューアルするにあたり皆様の良識のおかげで辿り着くことができました。「第8次安城市総合計画後期計画」と「第2期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の2つの計画を本日まとめることができました。誠にありがとうございました。

こうした激動な情勢の中でも、普遍的な市民のニーズ、願いは変わらないと思われました。これらの計画につきましては、行政課題の解決のための様々な施策・事業を今後どのように私どもが実現させていくのかということが重要になってきます。

今後とも全ての世代が健やかに暮らし、幸せを実感できるまちづくりと健全な行財政運営に努めてまいります。

最後になりますが、総合計画と総合戦略の実施とその進捗管理におきまして、引き続き委員の皆様のご格別なお力添えを賜りますようお願い申し上げます、お礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

**【事務局】**

以上をもちまして、令和元年度第5回安城市総合計画審議会を終了いたします。

一年間、ありがとうございました。

以上